

多治見根本校区地域力向上プラン 実践編

根本校区地域力向上推進会議 年度末全体会議

- **日時**：2013年3月16日（土） 13時35分～16時06分
- **場所**：多治見市根本公民館
- **参加者**：各テーマグループ…防災12人、地域交流6人、高齢者・障がい者6人、子ども・子育て7人、
防犯6人、自然・生活環境8人、多治見市役所4人、社会福祉協議会1人、支援団体（NIED）2人
- **ファシリテーター**：伊沢令子（NIED・国際理解教育センター）、**記録**：川合眞二（同左）
- **配布資料**：会議レジュメ、各テーマグループの活動実績（平成24年度）
- **会議のねらい**
 - ① 平成25年度事業計画（案）について説明し、承認を受ける。
 - ② 平成24年度の活動の成果を共有し、平成25年度に向けて、各グループ活動や推進会議のあり方に関する課題を確認する。
 - ③ 課題解決のための手立てを多面的に検討し、平成25年度に向けた抱負を語り合い、希望を共有する。

● プログラム

1. あいさつおよび次年度計画について 13:33-[12]
2. 本日の会議のねらいの確認 13:45-[3]
3. テーマグループから活動報告 13:48-[45]

① 防災	② 地域交流	③ 高齢者・障がい者
④ 子ども・子育て	⑤ 防犯	⑥ 自然・生活環境
3. 全体に共通する課題についての検討 14:33-[29]
- ★ 休憩 15:02-[10]
4. 課題の分類とアイデアの出し合い 15:12-[48]
5. 次年度に向けた抱負 16:00-[6]
- ★ 終了 16:06

● 記録

[]：所要時間

1. あいさつおよび次年度計画について 13:33-[12]

- **事務局あいさつ**…若尾さんから全体会議の進め方について説明する。
- **次年度事業計画（案）について説明**…久我会長から平成25年度の事業計画（案）について説明する。
 - ◇全体会議、役員会議の開催間隔について
 - ◇テーマ別グループ会議の開催について
…事前に会長または事務局に連絡してほしい。
 - ◇役員と事務局体制について
 - ◇予算について…財源の確保について検討したい。
- **内容承認**…異議なし→今後も柔軟に対応したい。



2. 本日の会議のねらいの確認 13:45－[3]

- ここからの会議のねらいの確認等…ファシリテーター伊沢にバトンタッチ、レジュメを読み上げ、この全体会議の趣旨とねらい、プログラムについて説明する。



3. テーマグループから活動報告 13:48－[45]

- 達成できたこと・良かったことの確認…資料「各テーマグループの活動実績（平成24年度）（9月、12月全体会議記録から）」および「グループの報告（3/4役員会資料）」について、自分の活動内容を見て、追加・補足することはないか、1年間をふりかえて成果だと思うことを、グループで話し合う。
- テーマグループからの活動報告…全体で発表する。発表した内容は次のとおり。

◆ 防災

<追加・補足する活動実績>

- ◇ 活動1 防災備蓄倉庫の確認…自主防災組織を生きる組織にするために活動している。
- ◇ 活動2 防災マップ…まじめに一歩ずつ進め、平成25年度には完成見込みである。
- ◇ 新活動…根本交流センターがオープンするので、センターを活用した防災対策の推進のため、防災に関する映画「ふるさとがえり」の上映を計画している。また、「災害から身を守るために」という自助・共助・公助について知らせるチラシ資料を作成したので、広めたいと考えている。



<活動の成果>

- ◇ 参加した人に対する「地域をふりかえる」機会の提供になった。
- ◇ はじめの三歩の目標に近づいているという手応えがあった（明和町からの広がり）。

◆ 地域交流

<追加・補足する活動実績>

- ◇ 活動1 趣味に関する情報収集…地域の友人・知人が賛同して一緒に活動してくれていることがとても嬉しい。これが地域力だと感じている。
- ◇ 活動2 地域サロンの開催…地域のボランティアグループの応援を得て、パソコン教室も立ち上げ、実施している。
- ◇ 活動3 地域サロンの拡大…この活動がこれからの課題と考えている。



<活動の成果>

- ◇ 活動が「楽しい!」と思っている。活動に賛同し、共に行動してくれる人が増えた。

◆ 高齢者・障がい者

<追加・補足する活動実績>

- ◇ 活動1 弱者の実態把握…なかなか実態を把握することが難しかったが、80歳以上の高齢者、独居者および夫婦のみの世帯の人数を民生児童員の協力で把握できた。

<活動の成果>

- ◇ 様々な困難の中、「人数」だけは把握することができた。



◆ 子ども・子育て

<追加・補足する活動実績>

- ◇ 活動1 あいさつ運動…小学校の講演会の前に時間をもらい、あいさつ運動の大切さについて話した。

<活動の成果>

- ◇ 学校の協力を得て、複数の活動を進めることができた。
- ◇ 「問題点はどこにある?」という視点で見守り、課題が見えてきた。



◆ 防犯

<追加・補足する活動実績>

- ◇ 活動1 防犯パトロール隊…地域ごとに順番に月1回パトロールしている。防犯灯の不具合の他に、放置自転車についても確認している。

<活動の成果>

- ◇ 子どもの「見守り」を毎日することができた。
- ◇ パンプグッズ、啓発ツールができた。



◆ 自然・生活環境

<追加・補足する活動実績>

- ◇ 活動1 美しい環境づくり…大原川の彼岸花の群生で空いている所に球根を植えた。次年度は7～8月に移植予定である。6月の初めに30名程度の参加を得てホタル調査を行った。新年度5月にカワニナの放流を予定している。
- ◇ 活動2 「根本の歴史を学ぶ」の実施…18ヶ所を巡った。



- ◇ 活動3 ペット飼育者への教育…なかなか進んでいない。
- <活動の成果>
- ◇ 先進地視察で学んだことを地域で応用することができた。
- ◇ 遺跡など地域を歩くことで、自分たち自身新たな発見があった。

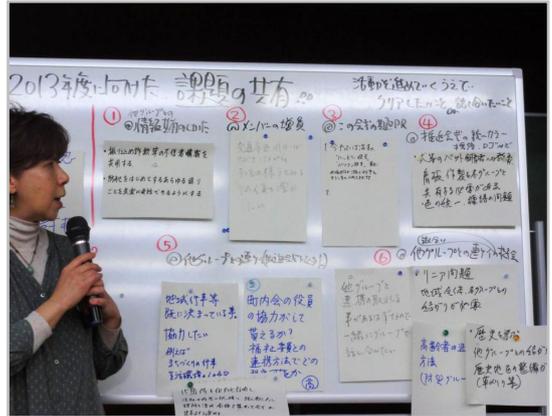
- ファシリテーターから成果について再確認…発表された成果について板書をし、読み上げ再確認をした。

3. 全体に共通する課題についての検討 14:33- [29] →別紙1参照

- グループでの課題の検討…グループで、活動を通して感じている課題について話し合い、次年度に向けて共通に考えたい課題を用紙にまとめる。
- 全体共有…全体で各グループの課題を発表する。

★休憩 15:02-[10]

※休憩中に、支援団体が発表した課題を分類・整理する。



4. 課題の分類とアイデアの出し合い 14:33- [29] →別紙2参照

- 課題の分類結果の発表…支援団体が分類・整理した7つの共通課題について発表する。7つの共通課題は次のとおり。
 - ① 他グループとの情報共有の方法
 - ② メンバーの増員
 - ③ この推進会議の活動の共通PRの方法
 - ④ 推進会議の統一カラー・標語・ロゴなど
 - ⑤ 推進会議以外の団体との連携方法
 - ⑥ 推進会議内の他グループとの話し合い・連携の方法



- 課題解決のアイデア出し…1グループに1つの共通課題を割り振り、どうやってその共通の課題を解決するとかアイデアを出し合い、模造紙に書き出す。10分間検討後、模造紙を回して、違う共通課題について確認するとともに、新たなアイデアを考え、付け足す。
- 課題解決のアイデア発表…3回模造紙を回した後、最初に割り振ったグループに模造紙を戻す。そして、模造紙に書かれている内容を読み上げて全体で共有する。
- ファシリテーターより…アイデアについては、今後皆さんで具体的に検討してほしい。また、個別グループの課題については各グループで来年度の検討課題としてほしい。
- 追加提案…検討した課題のほかにも、2点追加の提案がなされる。追加提案の内容は次のとおり。

- ◇ 地域力推進会議という名称が堅い感じがする。ニックネームがあるとよい。
- ◇ 共通課題として「あいさつ運動」を入れて、全グループ一緒に行いたい。

5. 次年度に向けた抱負 16:00- [6]

- 各テーマグループの抱負の発表…各テーマグループから、来年度に向けた活動の抱負を発表する。発表された内容は次のとおり。



<自然・生活環境>

- ◇ ホタルいっぱい、花いっぱい、歴史いっぱい、明るく住みよいまちづくり！

<防犯>

- ◇ 議論は終わった。活動あるのみ！

<子ども・子育て>

- ◇ 親子工作教室をみんなで創り上げていきたい。一緒にやりましょう！

<高齢者・障がい者>

- ◇ 個人情報に負けず高齢者訪問など全域を回るいきよいでいるんなことに取り組んできたい！

<地域交流>

- ◇ とにかく交流するれば何かが始まる！あいさつのあるまちは犯罪の少ないまち。

<防災>

- ◇ 練習第一！具体的なPTAを巻き込んで避難訓練、避難所の運営訓練を行っていく。

- 久我会長からのおわりのあいさつ

★16:06 終了 お疲れ様でした！！



別紙1. 各グループから出された課題の分類・整理結果

① 他グループとの情報共有をどうするか

- ◇ 振り込め詐欺などの不審者情報を他グループと共有しておく必要と方法
- ◇ 防犯をはじめとするあらゆる困りごとを気楽に電話で話せるようにする方法

② 活動メンバーの増員をどうするか

- ◇ 交通案内パトロールなどをしながら、子どもの様子もみることができるよう、人員を増やすことが必要

③ 推進会議を包括する共通PRをどうするか

- ◇ 今やっている活動（例：ハッピー喫茶／パソコン教室など）が、地域力向上計画推進会議の活動であることを、チラシなどに明記してPRすることが必要

④ 推進会議の統一標語・統一カラー・統一ロゴ作成をどうするか

- ◇ 様々な啓発看板（ペット飼育者への注意とか）を他グループと協働して作成する必要
- ◇ 色の統一や、共通標語などを作成する必要

⑤ 推進会議以外の地域の団体との連携をどうするか

- ◇ 地域行事など既に決まっている事を把握しかぶらないようにする
- ◇ まちづくりの行事や生活環境に関する意見の把握など、地域の団体と協力する必要
- ◇ 15団体を個別に訪問してそれぞれの活動内容を把握する必要性
- ◇ 地域の他団体と話し合いによって理解を深め、全体で集まって会議できるようにする必要性
- ◇ 町内会の役員の協力を得る方法
- ◇ 福祉委員との連携はどの程度可能か、またはどうやって連携するか

⑥ 推進会議の各グループ間の連携・話し合いの方法をどうするか

- ◇ 他グループと連携して活動したほうがよいことがあるはずなので、どことどの活動がどのように連携できるか一緒に話し合いたい
- ◇ リニアの問題は、地域全体に関わることであり、各グループとの連携が必要
- ◇ 高齢者の非難方法などを、高齢者グループ&防災グループなどで共に考える必要性
- ◇ 「歴史を学ぶ」活動においては、歴史地区の整備（草むしりなど）が必要となり、他グループの協力を得たい

※ その他各グループで話し合うべき課題

- ◇ **生活・自然環境**…ホタルの増殖はカワニナの飼育だけではなく自然とのつながりが大事。セメントで護岸工事されている場所をどうするのか、増殖のために必要な自然環境をどう確保するのかを検討する必要あり。
- ◇ **高齢者・障がい者**…個人情報のクリア方法。地域高齢者の見守りをどのように進めるのか。
- ◇ **防犯**…あいさつ運動を継続させるために、看板を作る際、子どもからアイデアを募る。
- ◇ **子ども・子育て**…あいさつ運動の継続&定期的に内容を変えることによる啓発運動のあり方。
- ◇ **防災**…各區で「安否確認」をする手法の検討。必要なデータが揃わない、不足している現状をどう打開するか。防災マップは、県、市と相談して進めていく（今年を目途として）。過去の事例の調査が必要（25年度中に調査する）。
- ◇ **地域交流**…大人に対する「あいさつ運動」をどう伝え広めていくか、その方法の検討。

別紙2. 共通課題を解決するアイデア

① 他グループとの情報共有の方法

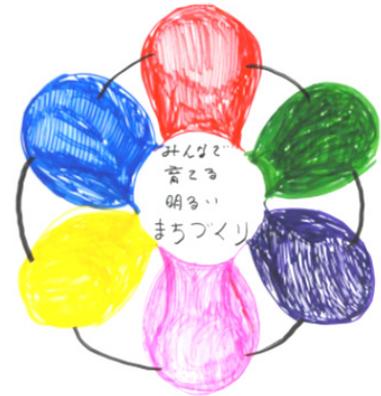
- ◇ 議事録での共有
- ◇ 安否確認などについては、高齢者・障がい者グループとの連携
- ◇ 情報共有のためのIT化（市のホームページなど）
- ◇ 根本公民館に「情報交換 box」を設置する
- ◇ 地域交流センターを利用してコミュニケーションを取り合う
- ◇ 根本交流センターに地域力の掲示板を作り、各グループの予定などを知らせる

② 活動メンバーの増員

- ◇ 住民に対して推進会議の活動をアピールする
- ◇ 広報に載せてもらう
- ◇ ポスターを掲示する（スーパー、病院、公民会、集会所などに）
- ◇ オリベとFM PiPi に推進会議の活動取材してもらい放送してもらう
- ◇ ハードルを高く感じさせない工夫
- ◇ 「地域力まつり」を開催して人や資金を集める

③ 推進会議を包括する共通PRのあり方

- ◇ 年4回の全体会議の後に広報を発行する
- ◇ 全員共通のベストを作り、行事ごとに着用する
- ◇ 看板の標語は校区全体に呼びかけ住民から募集する
- ◇ ポスターや看板などの色を統一する
- ◇ 宣伝活動を中心に検討するプロジェクトチームを作る
- ◇ 町内会長会議を利用してPRする
- ◇ 各町内会の役員班長会議でPRする



④ 推進会議の統一標語・統一カラー・統一ロゴ作成

- ◇ 6グループを表す花びらと中心にこの計画の標語を配したロゴはどうか？ ↑
- ◇ グループごとに案を出し合い、全体で決める
- ◇ 公募する（ふれあいねもと便り、根本交流センターたよりなど各種PR媒体を利用して）

⑤ 推進会議以外の地域の団体との連携の方法

- ◇ 校区の他団体の活動計画状況を調査する
- ◇ 団体名とその団体の活動内容や機能を把握する
- ◇ 必要な団体の代表者を、この推進会議に招待する
- ◇ 加入を働きかける
- ◇ サロン活動、交流会などを開く

⑥ 推進会議の各グループ間の連携・話し合いの方法

- ◇ 各グループの課題ごとに関連あるグループと連携を取り、話し合う
→そのために各委員会で、連携できそうな共通課題を確認する
- ◇ 各グループ、他グループへの協力依頼事項を洗い出し、代表者会議を持つ
- ◇ 学校との連携に関する窓口は一本化する
- ◇ 共通課題合同会議を開く
- ◇ 地域交流グループが音頭を取ることで、懇親会を開催する（ただし費用は実費）